

平成 31 年度 地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理 A	単位数	2 単位	年次	2 年次
使用教科書	高等学校新地理 A (帝国書院)、詳解現代地図 (二宮書店)						
副教材等	最新地理図表 GEO (第一学習社)						

1 担当者からのメッセージ (学習方法等)

- ・生活舞台として地球表面上の地理的事象に興味・関心を持つ。
- ・地理的事象に「なぜ」の視点を持つ。
- ・地図、統計、写真、動画などを活用する能力を養う。

2 学習の到達目標

- ・地図、統計、写真、映像に親しみ、地理的思考力を培う。
- ・地図、地形、気候、文化などの基礎的知識を身につける。
- ・地理的知識を歴史、政治経済と関連付けながら理解し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

3 学習評価 (評価規準と評価方法)

観点	a: 関心・意欲・態度	b: 思考・判断・表現	c: 資料活用の技能	d: 知識・理解
観 点 の 趣 旨	学習活動を通して、世界の地理的事象に関心を持ち、学習活動に自ら積極的に学ぶ姿勢を培う。	地図、統計、写真、映像などを通して地理的事象を考察することによって、自ら判断し、地図、グラフなどを作成する表現力を養う。	教科書や諸資料集から適切な情報を読み取り地図、グラフの作成や書き込み教材への記述、授業での発言をすることで、その理解を深めることができる。	基本的な地理的知識を理解・修得しそれらを人々の生活を関連づけることができる。
評 価 方 法	出席状況・授業態度・課題への取り組みと提出、ノート提出などで評価	授業での発言やその考え方、定期テストなどで評価	授業での発言や定期テスト、課題などで評価	授業での発言や定期テスト、課題などで評価
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。				

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	地球上の位置と国家	地球上の現象と位置 経度と時差 地図発達の歴史 球面と平面の世界 地図投影法 地形図と地図記号 国家の領域と国境 日本の領域と領土問題	○ ○	 ○ ○ 	 ○ ○	○ 	a、地理事象(地図)に興味関心を持てたか。 b、地球上の位置(経緯度)、や時差を理解したか。 d、地図の発達史を知り地図の種類、利用法を理解できたか。 c、地図記号を知り、地形図を利用できるようになったか。 a、国家と領域について理解し日本の領土問題に関心を持てたか	書き込み教材提出 小テスト
	グローバル化が進む世界	結びつきを強める現代社会 世界を結ぶ交通 拡大する世界の貿易 観光の国際化と人々の移動	○ ○	 ○	 	○ ○ ○ 	a、UN、EU、ASEANなどの国際機構について興味知識を持てたか。 d、各交通機関の特徴を理解できたか。 c、b、人や物の移動を地図上に表現することができるようになったか。	書き込み教材提出 期末考査
2学期	人間環境を取り巻く環境①	人々の生活と地形 世界の大地形と人々の生活 山地・平地の地形と人々の生活 海岸の地形と人々の生活 氷河地形、カルスト地形 乾燥地形と人々の生活	○ 	 	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a、人々の生活が地形と大きくかかわっていることに興味を持てたか。 d、世界の大地形を理解できたか。 c、各地形を理解し人々の生活と関連づけられたか。	書き込み教材提出 小テスト
	人間環境を取り巻く環境②	人々の生活と気候 生活と気候のかかわり 熱帯の気候と人々の生活 乾燥帯の気候と人々の生活 温帯の気候と人々の生活 亜寒帯・寒帯の気候と人々の生活	○ 	○ ○ ○ ○ ○	 	○ ○ ○ ○ ○ ○	a、人々の生活が気候と大きくかかわっていることに興味を持てたか。 b、世界各地の気温・降水量の統計を調べ、ハイサーグラフに表現できたか。 c、d、各気候区の特徴を理解し人々の生活と関連づけられたか。	書き込み教材提出 期末考査

3 学期	世界の諸地域の生活・文化	ヨーロッパの生活・文化 アメリカの生活・文化	○ ○		○ ○	○ ○	a、世界の諸地域の生活・文化に興味関心が持てたか。 d、c、世界の諸地域の生活・文化に関する理解を深め、知識を得たか。	書き込み教材提出 期末考査
---------	--------------	---------------------------	--------	--	--------	--------	--	------------------

※ 表中の観点について a:関心・意欲・態度 b:思考・判断・表現
c:資料活用の技能 d:知識・理解

※ 原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。